山頂からの眺望が素晴らしい。合戦図と照らし合わせながら余呉湖を望むと想像力がふくらむ（写真提供／びわこビジターズビューロー）。

湖国健脚倶楽部 名山再訪 KOKOKU KENKYAKU CLUB MEIZAN SAIHO

賤ケ岳（しずがたけ）

▼長浜市

余呉湖の眺望を楽しみながら戦国の古戦場に思いを馳せて

織

田信長亡き後の覇権を争い、家臣の羽柴秀吉と柴田勝家が雌雄を決した天正11年（1583年）の「賤ケ岳の合戦」の舞台がここ。〝賤ケ岳七本槍〟の武勇伝で有名です。大河ドラマ『江～姫たちの戦国』でも描かれたように、敗れた勝家は妻・お市とともに越前の北ノ庄城で自刃、秀吉はこの戦いを足掛かりに天下人への道をまた一歩進めました。

標高約421mの賤ケ岳山頂には、戦いに疲れ果てた姿の武者像が建ち、戦跡碑のある広場からは、北に余呉湖、南に琵琶湖と木之本の田園風景を望むことができます。この山頂を中心に余呉湖と山本山を結ぶハイキングコースが整備されていて、古戦場の史跡をめぐりながら森林浴も楽しめます。

今回はJR余呉駅を起点に、観音堂のある江土（えど）登山口から高山重友（後の右近）が陣を張った岩崎山砦跡、中川清秀の砦があった大岩山を経て、賤ケ岳の山頂をめざすメインルートを登り、飯ノ浦（はんのうら）切通しを経て余呉湖畔に下ります。起点の余呉駅までは湖畔をのんびり散策しましょう。

登りは雑木林におおわれた緩やかな傾斜の尾根筋、帰りの湖畔ルートは園地もありますが、ほとんど車道を歩くことになるので車には十分に注意を。

ひとくちメモ

☑余呉湖の周囲は約6.4㎞。賤ケ岳から下山した湖畔の国民宿舎余呉湖荘からJR余呉駅まで、今回は集落のない湖の東岸を選びましたが、西岸を歩くのもいいでしょう。あじさい園（6～7月が見ごろ）など水辺の散策路も整備されていて、多彩な湖畔の風景が楽しめます。湖畔の北にあるビジターセンターや天女の衣掛柳などの観光ポイントもまわることができます。

天女の衣掛柳

ACCESS&MAP

- JR余呉駅から江土登り口まで徒歩約10分。国民宿舎余呉湖荘からJR余呉駅まで徒歩約1時間20分。
- 山頂までは木之本町大音から賤ケ岳リフトが運行しています。2011年の営業は12月4日まで（冬季は運休）。

KEIBUN友の会会員カードの提示でリフト乗車料金が10%OFFになります。
※1回につき5名様まで。他クーポン、割引との併用不可。片道乗車割引不可。

▶観光に関するお問い合わせ
余呉町観光協会　☎0749-86-3085
木之本町観光協会　☎0749-82-5909

※山行の際には国土地理院発行の正確な地図（2万5千分1地形図など）をご使用ください。
※標高は国土地理院地形図の数値を採用。

観音堂の鐘がある江土登山口

いざスタート！

（上）余呉駅から「観音堂登り口」まで約300m。登山口は下余呉（江土）の集落の中にある。（下）登山道の入り口付近にある鐘楼。「観音堂晩鐘」と刻まれた余呉八景の小さな石碑もある。

JR余呉駅から湖へ向かい、車道を東へ進むと、羽衣橋に2つの登り口の道標があります。「観音堂登り口」を目指し、集落から登山口へ。村草神社古跡の碑があり、その上に観音堂の鐘楼が見えます。電気柵に注意して登山道を進みましょう。

岩崎山砦跡を経て中川清秀が眠る大岩山へ

（上）大岩山にある中川清秀の墓碑。百回忌の天和2年に建立されたと記されている。（下）ハイキングコースとして整備されている「余呉湖賤ヶ岳山本山歩道」。緩やかな尾根の登りが続く。

高山重友が秀吉の命で築いたといわれる岩崎山砦跡を経て、いったんガードレールのある林道に出ますが再び分かれて登山道へ。佐久間盛政の猛攻に敗れた中川清秀の墓が建つ大岩山はすぐです。少し先には清秀ゆかりの首洗いの池もあります。

激闘!! 賤ケ岳

夏草茂る山頂は兵どもが夢の跡

秀吉が最初に陣を張った猿が馬場を経て、しばらくすると急な登りになりますが、まもなく賤ケ岳山頂です。広場にはリフトでやってきた観光客もちらほら、展望台からは余呉湖や琵琶湖のパノラマが一望。槍で身を支える武者像も印象的です。

（右）賤ケ岳山頂には「戦のあと」の武将の心の動きを追想した武者像がたたずんでいた。（左）山頂の展望台から木之本の平野部を望む。遠くに小谷山が見える。

ここが合戦の激戦地!! 飯ノ浦切通しから湖畔をめざして

（上）余呉湖と飯浦港を結ぶために切り開かれた飯ノ浦切通し。石田三成や大谷刑部ら秀吉十四人衆の戦いで有名な場所だ。（下）国民宿舎余呉湖荘脇の登山口付近から見た湖畔の風景。

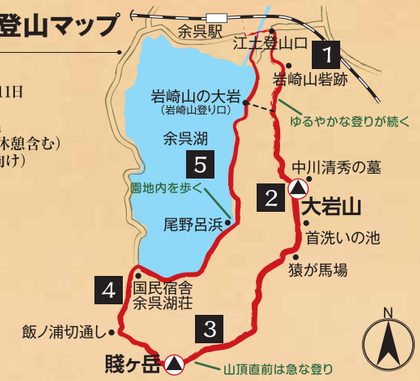
山頂から北西の尾根伝いに下ります。丸太階段が続きますが、約10分で尾根の鞍部にあたる飯ノ浦切通しです。ここから余呉湖畔にかけては合戦の激戦地でもあったところ。北へ一気に下ると国民宿舎余呉湖荘脇の登山口に出ます。

登山口のある湖畔から余呉湖の東岸へ。この道は中部北陸自然歩道のルートで、一部園地内を歩きます。園地は尾野呂浜と呼ばれ、賤ケ岳合戦の火ぶたが切られた場所。岩崎山の登り口がある大岩を過ぎ、余呉湖観光館から起点のJR余呉駅へ。

戦いの火ぶたが切られた尾野呂浜

余呉湖東岸をゆく

（上）岩崎山の大岩。昔は湖岸に岩が突出していたが、道路の拡張で今はその名残りがあるのみ。（下）尾野呂浜。中川清秀方の馬屋係がここで柴田側の佐久間盛政の兵に切り殺された。賤ケ岳合戦はここからはじまった。

賤ケ岳 登山マップ

山行日▶2011年8月11日
天候▶曇り
歩行距離▶約10km
総時間▶約5時間（休憩含む）
難易度★★（中級向け）